



住民懇談会を開催しました

市では、10月に平成24年度「住民懇談会」を市内4カ所で開催しました。市長をはじめとする幹部職員と市民の皆さんの間で活発に意見が交わされました。ここでは、各地区の皆さんから出された意見や提言の一部を紹介します。なお、いただいた意見などについては十分検討し、今後の市政に生かしていきます。

みどり蒼生館会場



テーマ

医療費の適正化について
荒尾干潟のラムサール条約登録について
地域の課題・その他

医療費の適正化について

Q 特定健診は早期発見になり、医療費の抑制につながりますが、それ以外に市で取り組んでいることは何ですか。

A 保健師・栄養士が地域に出向き、健康教室を行っています。若年層を対象には運動教室を始めていて、荒尾市全域で開催を予定しています。また、体力アップ体操はじめ、栄養教室や料理教室も行っています。

Q 現在通院している人は、特定健診を受けたことにはなりませんか。また、これによって特定健診の受診率も変わってくることはありませんか。

A 10月からは通院治療中の人で、特定健診を受けていなくても、例えば血液検査などある一定の検査を受けている人は、検尿などの検査（無料）を追加で受けてもらうことで、特定健診を受けたようにできることにしました。

地域の課題・その他

Q 7月頃、公共バスについて市との座談会がありました。その後の結果はどうなっていますか。

A 夏場の座談会は市内12地区を回ってご意見を伺ったところです。今後は地域公共交通の協議会に提案し、来年の3月までに計画としてまとめ、同10月には実施していきたいと考えます。

Q 有働病院から東宮内に抜ける道路（万田・田添線）の交通量が増えてきました。通学・通勤などで危険なところもあるため、今後の工事予定なども含めて地元説明会を開いてほしい。

A 現在は、平井精密工業㈱から北側へ向け、道路拡幅工事を進めています。土地の買収ができた部分から工事を進めていきます。本年度から地元説明会を行う予定です。

Q 八幡台の中央公園に植えてある桜やきんもくせいの木が大きくなり、電線やカーブミラーまで伸びています。通行にも支障をきたしているため、剪定をしてもらえないか。

A 確かに高木などが道路側にはみ出しており、できるだけ早いうちに危険箇所については対処します。

荒尾干潟のラムサール条約登録について

Q 荒尾干潟を保全するなどの環境面の取り組みだけではなく、いかに荒尾にお金を落とすという観点から、何かという施策を考えてありますか。

A 今年夏場にはマジック釣り体験ツアーを観光協会が行いました。また、野鳥の会と観光協会とで探鳥会を計画して、漁協ではラムサールの地で育った海苔として商品を売り出す予定です。今後、万田坑が世界遺産に登録されれば、グリーンランドで遊び、夕日がきれいな荒尾干潟を観て宿泊し、帰りは荒尾梨などのお土産を買ってもらえるなどのエコツアーも研究を進めています。

Q 大牟田から柳川方面に有明海沿岸道路ができていますが、ラムサール条約に登録されたことで、何か沿岸道路に対する規制などが発生することはないのですか。

A 登録湿地のラインは海岸線から50m沖合に引いています。沿岸道路や堤防の高度化などに対応できるようにしており、影響はないと考えます。

Q ラムサールを歓迎するのは、四ツ山公園から見える眺望です。ここは市の公園でもあるため、四ツ山公園から干潟を見たり、観光客を集めたり、そういう活用を今後考えていただきたい。

A 定期的に公園の木を間引いたり、トイレの管理などを行っています。ラムサール条約に登録されたことで、今まで以上に登山者を増やし、荒尾干潟の観光スポットとして活用を図っていききたいと考えます。

たくさんのご参加をいただき、ありがとうございました

10/ 4	みどり蒼生館会場	59人	
10/10	メディア交流館会場	56人	
10/15	エポック・荒尾会場	105人	
10/24	小岱工芸館会場	67人	計 287人



前畑淳治市長



山崎史郎副市長



小岱工芸館会場
コーディネーター 藤田肇一さん



エポック・荒尾会場
コーディネーター 塚本憲正さん



メディア交流館会場
コーディネーター 森崎信之さん



みどり蒼生館会場
コーディネーター 廣瀬富子さん